

千葉学習センター客員教員による

「ミニゼミ」 受講生募集！

「ミニゼミ」は放送授業や面接授業と違い、少人数で教員を囲みながら、各教員の専門分野をテーマに、発表、討論、実験、観察、課外活動など様々な学習スタイルで行われています。年齢や性別も異なる学生のみなさんが、指導教員のもと、共通のテーマを学びながら毎回楽しく活動しています。興味のあるテーマを学ぶとともに、他の学生や教員と交流していただくことも目的としていますので、試験や成績判定といったことはありません。

2020年度8月期は10のゼミで受講生を募集します。放送大学の学生であれば、どなたでも無料（一部ゼミは費用負担あり）で参加できますので、ご興味のある方は、是非お申込みください。なお、今年度よりZOOMを利用した遠隔ゼミを実施するゼミがありますので、ご自宅等のネット環境等ご確認願います。また、新たに追加されるゼミがある場合は適宜情報更新を行いますのでご注意願います。

【参加申込方法】 7月22日(水)11時から申し込みを開始します。

- ① 千葉学習センターHPより「ミニゼミ参加申請書」を入手し、必要事項を記入のうえ、学習センターへメールでご提出下さい。メールアドレスは chibagaku_soumu@ouj.ac.jp です。 ※原則先着順とし募集定員がオーバーした場合は、その時点で募集を終了します。また、事務室への直接申込、電話、郵送等での受付は行いません。
- ② 申請書の提出後、学習センターより各講師へ申請書をお送りし、講師から受講の可否について回答があり次第、センターより結果および次回開催日時をご連絡します。

※掲載内容は、2020年7月21日現在のものです。今後、**定員に達した時点で募集を中止します。**

偏光顕微鏡で石を見る（廣井先生ゼミ）

○講師：廣井 美邦（千葉大学名誉教授）

○募集定員：3人

○開催日時：原則として、月1回、主に日曜日。

（初回日時：8月23日（日）13:30～16:00 千葉学習センター第一実験室）

○内容：足元にある石の研究は、約0.03mmの厚さの薄片を偏光顕微鏡で観察することによって大きく飛躍しました。肉眼やルーペではあまりよく分からない石の特徴がよく分かり、美しい世界が広がります。現在では、電子顕微鏡による観察も普通になりましたが、偏光顕微鏡観察の重要さは変わりません。そこで、このゼミでは、偏光顕微鏡による石の観察をもとに、それぞれの石の特徴や生い立ちについて話し合います。また自分で石の薄片を作る作業も行います。

○受講条件：石の偏光顕微鏡観察は、専門科目（自然と環境）でも実施しますが、あまり時間が取れませんが、このゼミで、ゆっくりと石の偏光顕微鏡観察を楽しんでいただきたいと希望しています。石の観察の入門書としては、千葉県立中央博物館の高橋直樹さんと大木淳一さんによる「石ころ博士入門」（全農教・観察と発見シリーズ）があります（参考図書）。

きのこの科学（根田先生ゼミ）

○講師：根田 仁（農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 新技術開発部 研究リーダー）

○募集定員：10名

○開催日時：原則、月1回、主に土曜日あるいは日曜日

（初回日時：8月22日（土）13:30～16:00）

○内容：きのこは、かびのなかま（菌類）で、自然界では有機物分解・菌根形成を行い、栄養を得ているとともに、生態系において重要な働きをしています。

また、シイタケ、エノキタケなどの食用きのこは、多くの日本人に好まれ、その生産は農山村の経済をささえています。

そして、昔から「きのこ狩り」を楽しむ人が多く、文化的な意義も大きい生き物です。近年は、人々の健康を増進する化学成分の研究・利用も行われています。このようなきのこの魅力について共に学んでみませんか？本ゼミは、体験重視ですので特別な基礎知識は必要ありません。共に体験し、学びましょう。野外でのきのこなどの自然観察、研究機関・博物館訪問も予定しています。

初回開講時に、参加者から、今年度のゼミ内容に関するご希望を伺いますので、まずは、参加され、ゼミ内容の企画自体に加わってみられませんか？なお、興味のある項目だけに参加いただくことでも歓迎です。

○受講条件：野外観察の学外での活動や実験室で培養実験を予定していますので、これらの活動に参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

初回に参加できなくても、定員以内であれば、いつからでも参加可能です。なお、学内で開催するゼミのみへの参加も歓迎です。

学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。（ZOOMを利用した遠隔ゼミの実施を予定）

植物(四季の植物観察と標本づくり) (中村先生ゼミ)

○講師：中村 俊彦 (東京大学大学院農学特定支援員)

○募集定員：3名

○開催日時：毎月1～2回 (原則として木曜日の11:00～16:00)

(初回日時：8月5日(水) 13:30～16:00)

○内容：南北に長い日本列島は、世界的に多種多様な植物が生育する地域です。そのなかでも特に房総半島とその周辺では、落葉広葉樹など北方の冷温帯系植物と常緑広葉樹など南方の暖温帯系植物とが出会い共存するきわめて豊かな植物相がみられます。このような四季を通じてさまざまな場所で植物を観察し、また写真撮影や標本づくりもしながら親しみ、学んでいきたいとおもいます。

○観察対象：森林・樹木、サクラ、雑草・野草、イネ、コケ、海藻など

○観察場所：大学構内、北総の里山・谷津田、東大本郷・弥生キャンパス、東大小石川植物園・樹木園、千葉県立中央博物館本館・生態園、東京湾三番瀬など

○受講条件：学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

仏教儀礼を知る、考える、味わう(柴先生ゼミ)

○講師：柴 佳世乃 (千葉大学文学部教授)

○募集定員：4名

○開催日時：原則、毎月1回 (行わない月もある)。火曜日の午後1時から、2時間程度。

(初回日時：8月25日(火) 13:00～) *初回はオリエンテーション

○内容：今なお脈々と受け継がれ勤修されている法会・法要について、その内容や特色などを考えたり、古代・中世に行われていた仏教儀礼について考えを深めます。話題はもちろん文学や歴史にも及びます。

参加者には、各自テーマを決めて、順に発表してもらいます。

○受講条件：古典文学や歴史に通じていなくても結構ですが、調べて発表してもらい、また議論しますので、興味関心を持っていることが大前提です。ぜひ楽しくチャレンジして下さい。(ZOOMを利用した遠隔ゼミの実施を予定)

ヴァイオリンによる弦楽アンサンブルの楽しみ(伊藤先生ゼミ)

○講師：伊藤 誠 (埼玉大学教育学部教授)

○募集定員：5名

○開催日時：原則、基本的に水曜日 (月ごと3回開催)。

(初回日時：8月19日(水) 11:00～13:00、14:00～16:00)

*初回はオリエンテーション

○内容：ヴァイオリンの構え方、取り扱い方法から始まり、音程づくりの初歩はピチカート奏法 (指で弦をはじく方法) で進めます。左手の型が身に付いてきた時点で、弓 (ボーイング) を使って音を作っていきます。

導入期の教材は「わらべうた」や「童謡」ですが、ただ楽譜どおりに演奏するだけでなく、簡単なアンサンブル (二重奏や三重奏) も取り入れて、楽しく楽器に親しんで頂くことをねらいとしています。個別指導とアンサンブル指導を併用します。

他の方の練習を聞くことも学習を深める意味で大切かと思しますので、時間のゆとりがある方は見学して下さい。

○受講条件：ヴァイオリン学習未経験の方々、大歓迎なのですが、簡単な楽譜が読めることと、楽器を持参できる方を条件に受け入れます。これを機に楽器の購入をお考えの方は、昨年度の伊藤ゼミ生にお聞きになるとよろしいかと思ます。

○その他：初回 (8月19日(水)) にグループ分けを行いますので、全員11:00に集合して下さい。昨年度同様に11:00～13:00は3名、14:00～16:00は4名によるゼミを基本に割り振ります。月3回ずつのサイクルで行いますので、3名のゼミ生が3組、4名のゼミ生が3組、計6つのグループができることとなります。募集人数を21名前後にしたのは、そういう理由からです。翌月の開催予定日は、事前に周知します。昨年は、9月の幕張祭で発表の機会を持ちました。今年度も、多彩なプログラムでチャレンジしたいと考えています。

低温の世界を探索する(小堀先生ゼミ)

○講師：小堀 洋 (千葉大学名誉教授)

○募集定員：10名

○開催日時：(初回日時：8月8日(土) 開始時間は別途連絡) *原則として、月1回、主に土曜日あるいは日曜日

○内容：物質を室温より冷やすと、日常見慣れた性質が変化します。空気も液体になり、更に冷やすと、ミクロの世界を支配する量子現象が表に現れて来ます。これらの現象の多くは、固体物質・化学の知識で理解することができます。しかし、未解決の問題も残っており、新機能物質も次々と現れています。物質の理解は、様々な測定手段の進歩によって進んだのも事実です。ミニゼミでは、金属の示す磁気や伝導現象を中心として学んでいきます。

○受講条件：特にありませんが、千葉・筑波の大学・研究所の見学も予定しています。(ZOOMを利用した遠隔ゼミの実施を予定)

音環境文化ゼミ(兼古先生ゼミ)

○講師：兼古 勝史

○募集定員：10～15名

○開催日時：(初回日時：8月21日(金) 14:00～) *以後、原則月2回金曜日+休日の音関連イベントへの任意参加

○内容：私たちの周りには音楽・騒音・自然環境音・暮らしや日常の音など様々な音があります。こうした音世界を人間が体験する「風景」としてその意味や価値を考えるのがサウンドスケープ研究です。本ゼミではこのサウンドスケープの考えをベースに、「音」「音風景(サウンドスケープ=Soundscape)」をキーワードに地域・環境・社会を探り、音のアーカイブの作成や音による発信をします。1年目は試行錯誤しつつ、様々な音風景や音環境デザインの現場を体験する「野外フィールドワーク」と、生活や環境の中からなくなってしまった・なくなりつつある音について調査しまとめる『音のレッドデータブック』(※「レッドデータブック」とは元々絶滅の恐れのある野生生物のリストを掲載した資料のこと)の制作、及び音のメディア表現としての「ゼミ発ネットラジオ」の発信(秋以降)などを目標とし、参加者の状況や人数、希望によって内容・分担を決めていきます。

○受講条件：特に条件はありませんが、責任をもって成果物の制作(取材や録音、記事作成を含む)や発信にご参加いただけることを希望します。野外でのフィールドワークを行うことがあるので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。(ZOOMを利用した遠隔ゼミの実施を予定)

公民館をめぐる現代的役割と課題(長澤先生ゼミ)

○講師：長澤 成次(放送大学千葉学習センター所長)

○募集定員：10名

○開催日時：原則、毎週木曜日 13:00～15:00

(初回日時：8月27日(木) 13:00～15:00) *初回はオリエンテーション

○内容：公民館は、1946年に当時の文部省が全国にその設置を呼びかけ、現在は、全国に約14000館、千葉県には約300の公民館が設置されている。公民館は、図書館・博物館とならぶ社会教育施設であり、社会教育法にもとづいて設置・運営されている教育機関である。本ゼミでは、テキストを受講学生と読みながら人々の学びを通して地域づくりをすすめる公民館の現代的役割と課題を探ることを目的とする。

○受講条件：① テキストを分担して発表してもらいますので、授業に参加するためには、予習等が必要です。
② ゼミに継続して参加できる方。
③ テキストを使用しますので、テキスト購入代がかかります。

所長セミナー：卒業研究入門ゼミ(長澤先生ゼミ)

○講師：長澤 成次(放送大学千葉学習センター所長)

○募集定員：10名から15名

○開催日時：原則として土曜日 13:00～15:00 *月に1回から2回程度。

(初回日時：8月29日(土) 13:00～15:00) *初回はオリエンテーション

○内容：これから卒業研究にとりくもうとする学生から関心のあるテーマに基づいて発表していただきながら、参加者とともに学びあうゼミにしたいと考えています。すでに卒業研究を修了された方の参加も歓迎します。

子どもや大人の〈学習・理解・思考〉を教育心理学から見直す(麻柄先生ゼミ)

○講師：麻柄啓一(早稲田大学名誉教授)

○募集定員：10名

○開催日時：原則として、毎月第4金曜日の13:00～14:30(場合によっては15:00まで)。

(初回日時：8月28日(金) 13:00～14:30)

○内容：私たちが当たり前と考えていることであっても、別の見方ができる場合があります。このミニゼミでは、子どもや大人の「学習・理解・思考」といった内容に即して、そのような体験をしてもらえないかと考えています。「教育心理学から見直す」となっていますが基礎知識は必要ありませんし、専門的な概念や理論を習得することを目標にしているわけでもありません。当たり前と考えていることを批判的に見直す経験をすることが目標です。「学習・思考・理解」というと、学校での授業とも密接な関連をもちます。ですから小学校や中学校の授業で扱う内容や教師の教え方に関心を持っている人はこのミニゼミとの相性がよいかもしれません。ゼミでは毎回私がテーマを設定してプリントを配布します。受講生にはそれを巡って話し合いや作業をってもらうこととなります。本や論文の一部をその場で読み合うこともあります。時間の一部を割いて私が短い講義を行うこともあります。予習は必要ありません。

○受講条件：どの時間も小グループ(3人程度)で随時話し合いをして、それを元に各自の意見を発表してもらうので、そのような活動を好む人に参加してもらえればと考えています。